

令和6年度 消防本部の運営方針

消防長
八木 一巳

消防本部の組織体制	
消防総務課	警防課
予防課	消防署

基本方針	
○ 市民に対し応急手当の必要性や防火防災意識の高揚を図るとともに、各種災害に備えるための訓練を行い消防力の向上に努めます。 ○ 複雑多様化する火災や救急・救助事案へ対応するための車両や資機材の整備及び通報からの迅速な出動や正確な情報伝達を円滑に行うための中東遠消防指令センターの消防指令システム全更新など、消防力の基盤強化を図ります。 ○ 地域防災の担い手である消防団の活動環境の整備とともに、消防団員確保に努め地域防災力の強化を図ります。	

重点的に取り組む施策・事業

1 災害対応能力の向上と応急手当の普及啓発 (消防署)		3 すべての人に健康と福祉を	11 住み続けられるまちづくりを	13 気候変動に具体的な対策を	17 パートナーシップで目標を達成しよう	
現状・課題	火災、救急、救助等通常災害の対応能力の向上に加え、被害が大規模化する地震や林野火災、水害等を想定した合同訓練を、消防団や静岡県消防防災航空隊などと実施しています。 また、定期的な救急講習会の開催とともに、応急手当の大切さを街頭広報やSNSなどにより情報発信しています。 今後も基本訓練や関係機関との連携強化を目的とした合同訓練の継続及び市民に対する応急手当の知識と技術の習得を推進していく必要があります。	達成目標	①定期的な普通救命講習会を月1回実施するとともに、親子で参加できる救命講習会を2回以上開催します。 (令和5年度12回) ②関係機関との合同訓練を9回以上実施します。 (令和5年度8回)			
	あらゆる災害への対応能力の向上及び安全管理体制の充実に努めます。 また、定期的な普通救命講習会を継続するとともに、新たに親子で参加できる入門的な救急講習会を開催し、これらと広報活動を連動させて幅広い年代層へ応急手当を普及させていきます。					
2 火災予防の推進 (予防課)		11 住み続けられるまちづくりを				
現状・課題	市民の防火意識の高揚を図るとともに、事業所の防火・保安体制の強化に取り組んでいます。 全国的に火災による高齢者の死者が増加しているため、住宅用火災警報器の設置推進など火災予防の啓発をいかに効果的に行うかが課題となります。 また、事業所の防火管理体制の強化のため、立入検査の実施とともに防火管理者の育成を推進していく必要があります。	達成目標	①75歳以上の高齢者世帯に対して、戸別訪問による住宅用火災警報器の設置推進を300世帯以上に実施します。 ②立入検査による法適合率を93%以上とします。 (前年度：92%)			
	高齢者世帯を中心に住宅用火災警報器の設置・維持管理など、住宅防火の啓発活動を実施します。 また、事業所への立入検査による防火・保安管理の指導を行うとともに、防火管理講習受講者を増やし、火災の未然防止や被害軽減に努めます。					

3 消防力の基盤強化 (警防課)		11 住み続けられるまちづくりを			
現状・課題	消防力の基盤である緊急車両及び資機材等の計画的な更新・整備を進めることで、火災を始めとする各種災害への対応体制を確保しています。 複雑多様化する火災や救急・救助事案への対応だけでなく、被害が広範囲に及ぶ地震や集中豪雨等の自然災害への体制の強化を図るため、今後も適正かつ計画的に緊急車両や資機材等の更新・整備をしていく必要があります。 また、平成24年度から中東遠地域5消防本部で共同運用している中東遠消防指令センターの消防指令システム全更新は、令和6年度中に整備を完了し、令和7年度からの運用開始が計画されています。	達成目標	①耐震性防火水槽を2基新設整備します。 (前年度整備数：2基) ②消防団河城分団の消防ポンプ車を更新します。 ③中東遠消防指令センターの消防指令システムの全更新を完了します。		
	大規模災害用資機材の整備、消防団消防ポンプ自動車の更新及び耐震性防火水槽を整備し、更なる消防力の基盤強化を図るとともに、他消防本部及び関係機関等との大規模災害訓練を実施し、各種災害対応力を強化します。 また、119番通報からの出動指令及び情報伝達を正確かつ迅速に実施するために、老朽化した中東遠消防指令センターの消防指令システムの全更新を進めます。				
4 消防団の活動環境整備 (消防総務課)		11 住み続けられるまちづくりを	17 パートナシップで目標を達成しよう		
現状・課題	「消防団協力事業所」及び「消防団応援の店」の登録推進と併せ、企業や自治会に対して、消防団活動に対する理解や協力を求めることにより、消防団員の活動環境整備を行っています。 地域防災力の強化には、その中核となる消防団員を確保することが重要であることから、消防団員が減少傾向にあるなかで、消防団本部及び消防団活性化検討委員会において、団員確保対策や活動環境改善について協議・検討を進めるとともに、自治会や企業への理解及び、協力について依頼を継続して行い、消防団員確保に繋げていく必要があります。	達成目標	①令和6年12月末までに消防団員募集リーフレットを作成し、各分団における新入団員勧誘活動に用いるよう配布するとともに、若年層やそのご家族などに消防団活動を理解し、興味を持って頂けるよう、はたちのつどい参加者に配布します。 ②小笠東分団川上蔵置所の建て替え計画を小笠東地区自治会に示し、承認をいただきます。		
	新入団の希望者の増加と併せ、長く活動していただける団員が増えるよう、消防団員の活動環境整備を継続して実施するとともに、入団対象者やそのご家族の皆さんなどに消防団の必要性や活動内容を知っていただき、理解と共感をしていただくための内容を盛り込んだ消防団員募集リーフレットを作成します。 また、消防団の活動が効率的に行われ、迅速な災害対応が可能となるよう、老朽化が進んでいる消防団蔵置所の建て替え等について、消防団本部や自治会等の皆さまにご意見を頂きながら検討を進めていきます。				